

2014年度版競技者必携 改正点

項目	2012年版頁	修正内容	説明
全国大会に参加するチームの注意事項	P13 開会式について	2 開会式は、ユニホーム並びにスパイクまたはアップシューズで入場行進をする。 但し、球場の芝保護の為アップシューズも認める。 (ウィンドブレーカー等の着用を禁止する。)	・削除及び追記 (第4回理事会承認事項)
競技運営に関する連盟 取り決め事項	P14	1 その日・・・打順表(登録された者全員を記入したもの)を 監督または 主将が大会本部・・・攻守を決定し 監督または 主将が・・・試合を開始する。 なお、練習は外野に限り行うことを認める。(フリーバッティングは 禁止 → 厳禁 とする。)その際・・・	・太線部の追加 (第4回理事会承認事項) ・太線部の通り修正 (第2回理事会承認事項)
		2 第2試合以降のチームは、前の試合の 7 5 回終了時 (少年部、学童部は 5 4 回終了時までに・・・)	・回数の訂正 (第4回理事会承認事項)
	P15	3 ①シートノックは、・・・なお、捕手はプロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、 ファウルカップ を必ず着用すること。 ③少年部・学童部はシートノック時の補助員としてコーチ(背番号28・29番)も認める。	・太線部追記 H24年度決定事項 ・新規で③を追加 (誤解防止のため明文化)
		5 ベンチ内での 電子機器類 (携帯電話、パソコン等) 携帯マイクの使用を禁止する。・・・	・太線部の追加 (第2回理事会承認事項)
P17 10試合のスピードに かんする事項 (4) 投手と捕手について	② 投球を受けた捕手は その場から 速やかに・・・ ④ あまり・・・無用な牽制球が度が過ぎると 審判員が判断したら 、 反則行為・・・	・太線部の追加 (質疑が多い事項の為)	
P19 11～14	11 季節や天候により、 グランドコートを・・・ 12 ネックウォーマー の着用は季節を考慮し着用することができる。 13 サングラス の着用は天候状態等によりプレイに支障が出る場合、大会本部に申し出て、承認を得て使用することができる。ただし、 ミラーレンズ(反射式) の使用は禁止する。 12 14 ダブルヘッダー に関する事項・・・ 13 15 試合中雷が発生した場合・・・ 14 16 突発事故の際のタイムについて・・・	・12、13として太線部を新規追加、以下番号調整 (12は第2回理事会承認事項、13は既定事項を明文化した)	

2014年度版競技者必携 改正点

項目	2012年版頁	修正内容	説明
競技に関する連盟特別規則	P21 一 正式試合	1 「一般」 9回戦 (1)正式試合(ワールドゲーム)になる回数を7回とする。 (2)試合によっては7回戦とすることがあるが・・・5回とする。 (1)ゲームは9回戦であるが、暗黒、降雨などで9回までイニングが進まなくとも 7回を過ぎればゲームは成立する。 (2)日本スポーツマスターズは7回戦とする。 また同大会は指名打者制を採用する。 (公認野球規則6. 10) (3)国民体育大会の順位決定戦は・・・特別延長戦とする。	・太線部の文言(1)へ修正 (解釈の誤りが多いため) ・太線部の文言(2)を新規追加 (第4回理事会承認事項)
		2 「少年部・学童部」 7回戦 (1)正式試合(ワールドゲーム)になる回数を5回とする。 (1)ゲームは7回戦であるが、暗黒、降雨などで7回までイニングが進まなくとも 5回を過ぎればゲームは成立する。ただし、健康維持を考慮し、2時間30分を経過した場合は新しいイニングには入らない。 「学童部三年生以下」 5回戦	・太線部の文言(1)へ修正 (第2回及び第4回理事会にて承認された改正案からより分かりやすくする為、一般同様の文言に修正)
	P22 二 延長戦	1 一般 (2)すべての大会において、試合開始後、3時間30分を経過した場合は、新しい 延長 イニングに入らない。 2 少年部・学童部 7回を完了して同点の場合は、引き続き特別延長戦を行い、 10 9回を完了しても 決着がつかときは、抽選で勝敗を決定する。 なお、学童部に限り、新しいイニングには入らない。ただし、同点の場合は・・・引き続き特別延長戦を行う。 決勝戦の場合は、抽選を行わず、両チーム優勝とする。 (1) 特典の記録・・・ (2) 抽選方法・・・	・太線部追記 (第2回理事会承認事項) ・10回を9回へ (第4回理事会承認事項) ・「なお、学童部に限り・・・」は削除し、文言を変えてP21へ移動した。 (第2回理事会承認事項)

2014年度版競技者必携 改正点

項目	2012年版頁	修正内容	説明
競技に関する連盟特別規則	P27 十三 監督又はコーチが投手のところへ行く回数の制限 (8. 06)	1 監督又はコーチが同一イニングに同一投手のところへ… 2 監督又はコーチが投手のところへ1度行くか、行ったと… 3 監督又はコーチが相手チームのタイム中、投手のところへ… 1 監督又はコーチが1試合に投手のところへ行ける回数は 3回以内とする。 なお、延長戦(特別延長戦も含む)は、2イニングに1回行くことができる。 2 監督又はコーチが、同一イニングに同一投手のところへ2回目に行くか、行ったとみなされた場合(伝令を使うか、捕手又は他の野手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合)は、投手は自動的に交代しなければならない。 連盟では交代した投手が、他の守備位置につくことが許される。なお、他の守備位置についたときは、同一イニングには 再び投手には戻れない。 (8. 06) 4 3 少年部・学童部は、監督に限る。	<ul style="list-style-type: none"> ・太線部の文言1, 2へ修正 以下番号調整 (第4回理事会にて承認された改正案から、より分かりやすくする為、文言をさらに修正した)
	P28 十四 守備側のタイムの回数制限	1 捕手又は内野手が、1試合に投手のところへ行ける回数を9イニングスの場合にあつては4度、7イニングスの試合にあつては3度、 3回以内とする。なお、延長戦(特別延長戦も含む)とな場合は、2イニングスに1度 1回行くことができる。 野手(捕手も含む)が投手のところへ行った場合、そこへ監督又はコーチ等が行けば、双方1回として数える。(逆の場合も同様とする。) 投手交代の場合は、その回数に含まない。 2 監督又はコーチが…投手のところへ行けば野手としての1度 1回と数えるが…投手の所へ1度 1回行ったこととして通告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削除及び太線部の通り修正、追加。 ・ 表現の統一 「度」を「回」へ
	P29 十五 塁上の走者、あるいは…	十五 攻撃側のタイムの回数制限 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。 なお、延長戦(特別延長戦も含む)は、2イニングに1回とする。 十五 十六 塁上の走者あるいは…	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太線部の文言十五を新規追加(第4回理事会承認事項) ・ 番号調整

2014年度版競技者必携 改正点

項目	2012年版頁	修正内容	説明
競技に関する連盟特別規則	P30 十六 競技者のマナーについて	十六 十七 競技者のマナーについて… (6) プレイ中みだりにベンチを出る行為(競技に出る準備をしている 2組 4名以内を除く)	・ 番号調整及び太線部の追記 (誤解が多いため、明文化)
	P30 十七 少年部・学童部に関する事項	十七 十八 少年部・学童部に関する事項 1 学童部の投手は変化球を投げることを禁止する。 関節の障害を防止のため… なお、ペナルティは少年の 健康管理 肘・肩の障害防止 が目的で…	・ 番号調整 ・ 太線部のとおり削除・修正 (投球制限の目的を周知徹底するため文言を変更)
	P31 同上	(3) 変化球が投げられたときにプレイが… ただし、打者が安打、失策、 四死球 四球、死球 、その他で一塁…	・ 野球規則記述に合わせた
		2 少年部・学童部の投球制限 投手の投球制限については、 健康維持 肘・肩の障害防止 を考慮し、1日7イニングまでとする。 ただし、特別延長戦に限り2イニングまで認める。 なお、学童部3年生以下にあっては…	・ 削除及び修正 (投球制限の目的を周知徹底する為文言を変更) ・ 太線部「ただし…」追記 (第4回理事会承認事項)

※ 現在、競技者必携校正作業中の為、改正項目の表現が一部変更になる場合があります。 ご承知おきください。